

都市再生整備計画 事後評価シート 原案
阿見中部地区

平成31年1月

茨城県阿見町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	阿見町		地区名	阿見中部地区			面積	1,437ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1,275	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業：町道第2523号線他17(道路改築)、町道第2310号線他14(道路修繕) 高質空間形成施設(緑化施設等)：LED防犯灯改修 地域生活基盤施設：地域防災施設(中央公民館)、地域防災施設(本郷小学校体育館)										
		提案事業	地域創造支援事業：排水路整備 事業活用調査：事業効果分析調査 地域創造支援事業(耐震改修)：町民体育館										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名										
		提案事業	役場東側庁舎(耐震改修)	他の交付金を活用できるため削除						削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業	基幹事業											
提案事業													
交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	住宅・住環境に関する満足度	%	81.1	H24	81.1	H30		72.1	×	あり なし	●	計測対象地区だけでは目標値達成には至らなかったが、計測対象区域外で事業を行った「其他地区」は計測対象地区と比べ計測値は73.1%に向上しており事業地区全体の満足度は高まっている。
	指標2	身近な生活道路に関する満足度	%	65.1	H24	69.3	H30		70.0	○	あり なし		生活道路の改築・修繕だけでなく道路幅員が4m未満の狭い道路を11本拡幅したことや道路改築と同時に沿道の保育所の駐車場整備や歩道の拡幅により満足度が上がった。
指標3	公共施設の耐震化率	%	62.9	H25	100.0	H30		100.0	○	あり なし		耐震改修及び耐震補強により計画した阿見中部地区内町有の建築物27件すべて新耐震基準への対応が完了し目標を達成した。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	LED防犯灯による安心・安全な生活環境の向上に関する満足度	%	58.9	H25				78.7				生活道路である町道の改築・修繕にあわせ、通学路を含め夜間の歩行等に対する安全対策として既存の蛍光灯を撤去しLED防犯灯を1,486基設置したことで満足度が向上した。
その他の数値指標2	狭隘道路解消による安全性の向上に関する満足度	%	54.7	H25				72.4				日常生活の歩行や通学路等で使う生活道路の改築・修繕を33路線(延長13,935m)整備したことにより道路環境が改善し安全に通行できる道路が増えたことで満足度が向上した。	
4)定性的な効果発現状況	平成30年8月末に実施した「阿見中部地区のまちづくりに関するアンケート調査」の指標の計測対象とした「中央地区」「西部地区」の満足度は7割を超えている。さらに「其他地区」の評価値(満足度)は「指標1」「指標2」「その他指標1」「その他指標2」は、いずれも「中央地区」「西部地区」より高い評価値(満足度)となっており、大目標とした「町民の暮らしを支える安全で安心なまちづくり」の形成に寄与していると考えられる。												
5)実施過程の評価	実施内容												
	実施状況												
	今後の対応方針等												
	モニタリング										都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	住民参加プロセス	中郷保育所駐車場整備に関する説明会。中郷保育所前の道路改築工事(町道2109号線)を行う際、駐車場も同時に整備するため通常の道路工事に比べ周辺への影響が大きい点を考慮し、説明会を開催。									都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も周辺への影響が大きいと思われる道路整備を行う際は、説明会等を開催し、住民の事業への理解を深めるとともに住民の意見や要望を聴く機会とする。
住民参加プロセス	生活道路の整備に関する審議会。生活道路整備を実施する際に、区長が住民要望をとりまとめて町に申請した。また、住民代表をメンバーに含めた審査会を開催した。									都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	審査会を行って客観性及び透明性のある優先順位をつけることにより、住民の理解を得て、より満足度の高い道路整備を行うものである。	
持続的なまちづくり体制の構築										都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

阿見中央地区(茨城県阿見町)都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 町民の暮らしを支える安全で安心なまちづくり 小目標① 安全で、だれもが安心して快適に暮らせるよう、生活環境の形成を図る。 小目標② 災害に強い都市環境の形成を図る。		住宅・住環境に関する満足度	単位: %	81.1	H24年度	81.1	H30年度	72.1	H30年度
		身近な生活道路に関する満足度	単位: %	65.1	H24年度	69.3	H30年度	70.0	H30年度
		公共施設の耐震化率	単位: %	62.9	H25年度	100.0	H30年度	100.0	H30年度
		LED防犯灯による安心・安全な生活環境の向上に関する満足度	単位: %	58.9	H25年度			78.7	H30年度
		狭隘道路解消による安全性の向上に関する満足度	単位: %	54.7	H25年度			72.4	H30年度
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;"> <p>生活道路(改築) 町道1095</p> <p>整備前</p> <p>生活道路(改築) 完成後</p> <p>整備後</p> </div> <div style="width: 40%;"> <p>LED防犯灯改修 [1-1地区: 748基] [1-2地区: 738基] 計1,486基</p> <p>改修後</p> <p>■基幹事業 H26 高貴空間形成施設 (緑化施設等 LED防犯灯改修)</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2523号線他17改築)</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2310号線他14修繕)</p> <p>■基幹事業 H26~27 地域生活基盤施設 (地域防災施設)</p> <p>□提案事業 H27 地域創造支援事業 (排水路整備)</p> <p>□提案事業 H27 地域創造支援事業 (耐震改修)</p> <p>□提案事業 H30 事業活用調査 (事業効果分析調査)</p> <p>■関連事業[下水道事業] 荒川本郷地区調整池整備</p> <p>■関連事業 無線放送施設整備事業</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2109号線他17改築)</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2126号線他17改築)</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第3196号線他14修繕)</p> <p>■基幹事業 H26~27 地域生活基盤施設 (地域防災施設)</p> <p>□提案事業 H27 地域創造支援事業 (耐震改修)</p> <p>□提案事業 H30 事業活用調査 (事業効果分析調査)</p> <p>■関連事業[下水道事業] 荒川本郷地区調整池整備</p> <p>■関連事業 無線放送施設整備事業</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2310号線他14修繕)</p> <p>■基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第1228号線他14修繕)</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>西郷地区排水路</p> <p>整備前</p> <p>竣工</p> <p>整備後</p> <p>生活道路(改築) 町道2109号</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> <p>生活道路(改築) 町道0104号</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> <p>生活道路(改築) 町道3196</p> <p>整備前</p> <p>町道3196号線 竣工</p> <p>整備後</p> <p>生活道路(修繕) 町道1228号</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> <p>生活道路(修繕) 町道0102号</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> <p>耐震化(耐震補強) 町民体育館</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> <p>耐震化(耐震改修) 本郷小学校体育館</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> <p>耐震化(耐震補強) 中央公民館</p> <p>整備前</p> <p>整備後</p> </div> </div> <p><凡例></p> <p>■ 基幹事業 □ 提案事業 ○ 関連事業</p> <p>■ 基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2310号線他14修繕)</p> <p>■ 基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2109号線他17改築)</p> <p>■ 基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第3196号線他14修繕)</p> <p>■ 基幹事業 H26~27 地域生活基盤施設 (地域防災施設)</p> <p>□ 提案事業 H27 地域創造支援事業 (耐震改修)</p> <p>□ 提案事業 H30 事業活用調査 (事業効果分析調査)</p> <p>■ 関連事業[下水道事業] 荒川本郷地区調整池整備</p> <p>■ 関連事業 無線放送施設整備事業</p> <p>■ 基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第2310号線他14修繕)</p> <p>■ 基幹事業 H26~30 道路事業 (町道第1228号線他14修繕)</p>									

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道第2523号線他17(道路改築)	321	L=3,105m	312	L=2,545m	事業費の増減 事業量(箇所数)の減少	完了実績による増減(請負差金や、工事変更等による)。地権者交渉の難航や、事業計画の見直し(整備優先順位の変更)による事業箇所数の減少。事業費321百万円が、312百万円に減額。道路事業全体における減少割合(延長ベース)が3%程度なので特に指標には影響しない。		●
道路	町道第2310号線他14(道路修繕)	577	L=11,390m	626	L=11,390m	事業費の増額	完了実績による増減(請負差金や、工事変更等による)。工法の見直しによる増額(CBR試験によって、路床入替が必要になる等)事業費577百万円が、626百万円に増額。事業費の変更のための指標へは影響しない。		●
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	中央公民館	178	A=2,813㎡	63	A=2,813㎡	事業費の減額	事業費に占める町単独費施工分の増加による交付対象事業費の減額。事業費178百万円が、63百万円に減額。事業費の変更のための指標へは影響しない。	●	
地域生活基盤施設	本郷小学校体育館	14	A=782㎡					●	
高質空間形成施設	LED防犯灯改修	22	N=1,400基	21	N=1,400基	事業費の減額	完了実績による減額(請負差金等による)。事業費22百万円が、21百万円に減額。事業費の変更のための指標へは影響しない。	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	住宅・住環境に関する満足度	%	-	-	81.1	H24	81.1	H30	モニタリング			モニタリング			●
									事後評価	確定		72.1	事後評価	×	
指標2	身近な生活道路に関する満足度	%	-	-	65.1	H24	69.3	H30	モニタリング			モニタリング			○
									事後評価	確定	●	70.0	事後評価	○	
指標3	公共施設の耐震化率	%	-	-	62.9	H25	100.0	H30	モニタリング			モニタリング			○
									事後評価	確定	●	100.0	事後評価	○	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	生活道路の改築・修繕、公共建築物の耐震化、LED防犯灯改修、排水路整備、防災無線設備を整備し道路環境や快適な生活環境の確保により満足度の向上を目指したが、目標値を上回らなかったため達成度は「×」とした。	指標1は平成25年度に完了した実施事業の土地区画整理事業による新規住宅地整備や5つの公園整備をもとにしたものであり、本事業はこれらの事業が無く目標値として高くなった。
指標2	道路幅員が4m未満の狭隘な道路を11本拡幅したことや道路改築・修繕と同時に保育所の駐車場整備や通学路の歩道を拡幅したことにより満足度が高まり目標値に達していることから達成度は「○」とした。	
指標3	耐震改修及び耐震補強により計画した阿見中部地区内の町有建築物27件すべて整備完了し目標値に達していることから達成度は「○」とした。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
				基準年度		基準年度					
その他の数値指標1	LED防犯灯による安心・安全な生活環境の向上に関する満足度	%			58.9	H25	モニタリング			78.7	防犯灯のLED改修工事に伴う効果としてLEDによる道路の明るさの向上により安全な生活環境の形成が進行していることを説明する。
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標2	狭隘道路解消による安全性の向上に関する満足度	%			54.7	H25	モニタリング			72.4	消防活動困難区域の解消に向けた生活道路の幅員を安全な広さに整備することにより道路の安全性が向上していることを説明する。
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

指標計測対象地区の評価値は、全ての指標で7割以上と高い満足度を得られた。指標計測対象外の地区(その他地区)を含めて満足度を計測したところ、評価値を超える高い満足度を得られた。これにより高い満足度が得られたため、事業は大目標である「町民の暮らしを支える安全で安心なまちづくり」の達成に寄与していると言える。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
中郷保育所駐車場整備に関する説明会	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計1回 【実施時期】平成26年11月6日 【実施結果】生活道路の整備に先立ち説明会を開催することで様々な要望や意見を聞き取り、事業に反映でき、住民の方々の十分な理解を得られ円滑に整備が進んだ。	今後も周辺への影響が大きいと思われる生活道路の整備を行う際は、説明会等を開催し、住民の事業への理解を深めるとともに住民の意見や要望を聴く機会とする。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
生活道路の整備に関する審査会	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計2回 【実施時期】平成27年2月3日、平成28年7月15日 【実施結果】生活道路の整備は住民要望を区長がとりまとめて町に申請するため、住民参加プロセスの一部であり、さらに、住民代表もメンバーに含めた審査会を行うことで、客観性及び透明性のある優先順位をつけることができた。	審査会を行って客観性及び透明性のある優先順位をつけることにより、住民の理解を得て、より満足度の高い道路整備を行うものであり、継続して行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再整備計画事業事後評価庁内会議	上下水道課、生活環境課、生涯学習課、学校教育課、道路公園課	平成30年10月15日	産業建設部道路公園課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		指標3		その他の指標1		その他の指標2	
指標名		身近な生活道路に関する満足度		公共施設の耐震化率		LED防犯灯による安心・安全な生活環境の向上に関する満足度		狭隘道路解消による安全性の向上に関する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	町道第2523号線他17(道路改築)	◎	生活道路の改築・修繕だけでなく道路幅員が4m未満の狭隘な道路を11本拡幅したことや道路改築と同時に道路の線形変更によって生まれた用地を利用して保育所の駐車場を整備することで路上駐車車を排除したり、通学路歩道の段差解消と幅員を広げることにより満足度が高まった。	—	耐震改修及び耐震補強により計画した阿見中部地区内の町有建築物27件すべて新耐震基準への対応が完了し目標を達成した。	○	生活道路である町道の改築・修繕にあわせ、通学路を含め夜間の歩行等に対する安全対策として既存の蛍光灯を撤去しLED防犯灯を1,486基設置したことで満足度が向上した。	◎	日常生活の歩行や通学路等で使う生活道路の改築・修繕を33路線(延長13,935m)整備したことにより道路環境が改善し安全に通行できる道路が増えたことで満足度が向上した。
	町道第2310号線他14(道路修繕)	◎							
	中央公民館	○							
	本郷小学校体育館	○							
	LED防犯灯改修	◎							
提案事業	耐震改修(町民体育館)	○	◎	○		○		○	
	排水路整備(西郷地内)	◎	—	○		○			
	事業効果分析調査	—	—	—		—			
関連事業	下水道事業(荒川本郷地区調整池整備)	—	—	—		○		—	
	無線放送施設整備事業(阿見町全域)	○	○	○		○			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	生活道路の整備にあわせ歩道等の交通安全施設の整備も継続していく。		LED防犯灯改修は行政区からの要望を踏まえ継続していく。	安全性の向上に必要な狭隘道路解消を継続していく。
-------	----------------------------------	--	------------------------------	--------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標〇			指標〇			指標〇			
指標名		住宅・住環境に関する満足度												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	町道第2523号線他17(道路改築)	△	計測対象地区だけでは評価値72.1%と目標値達成には至らなかったが、計測対象区域外で事業を行った「その他地区」は計測対象地区と比べ計測値は73.1%に向上しており事業地区全体の満足度は高まっている。	Ⅲ										
	町道第2310号線他14(道路修繕)	△												
	中央公民館	△												
	本郷小学校体育館	△												
	LED防犯灯改修	△												
提案事業	耐震改修(町民体育館)	△												
	排水路整備(西郷地内)	△												
	事業効果分析調査	—												
関連事業	下水道事業(荒川本郷地区調整池整備)	△												
	無線放送施設整備事業(阿見町全域)	△												

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	安全で快適な住宅・住環境づくりを推進していく。		
------------------	-------------------------	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再整備計画事業事後評価庁内会議	上下水道課、生活環境課、生涯学習課、学校教育課、道路公園課	平成30年10月15日	産業建設部道路公園課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
<ul style="list-style-type: none"> 課題とされていた生活道路や公園等の公共整備の遅れについては、一定の事業効果を得ているが、地区内の生活道路は狭隘な道路等が未だ残されており、消防活動等に支障がでている等、道路環境の継続的な改善や快適な生活環境の確保が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町道の生活道路整備として、18路線区間の改築、15路線区間の修繕が完了。 道路幅員を広げたり、必要な隅切りを確保する等して、緊急車両のスムーズな通行ができるような効果をあげた。 	<ul style="list-style-type: none"> 残された狭隘な生活道路(町道)の拡幅整備 道路の冠水対策 	
<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯に対する町民の関心が高まっていることから、地震のみならず、集中豪雨、竜巻等の風水害への対策を含めた防災体制の改善を急ぐとともに、安全な地域づくりのための環境整備を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯のLED改修工事により町道(生活道路)の明るさが増し、防犯効果が高まった。 町内の公共施設の耐震化が完了し、災害時等に安全に利用できる施設となり、防災体制が改善された。 西郷地区の排水路整備により安全性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るさ不足の危険な通学路や生活道路等防犯灯設置必要箇所への設置 	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域住民団体(行政区等)の代表者を通した 要望書・同意書の提出の継続・促進	「生活道路整備審査会」での審査及び対応の継続	生活道路整備事業
	・防犯灯や施設の適切な修繕、維持管理の 継続	・防犯灯の維持管理を継続的に推進	防犯灯改修工事
	・冠水対策(道路・排水路)	・冠水対策(道路・排水路)の推進	生活道路整備事業 排水路整備事業

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	整備要望箇所の定期的な把握と対応	「生活道路整備審査会」での審査及び対応の継続	生活道路整備事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	防犯灯設置が必要な通学路、生活道路の調査確認と優先設置箇所の選定	防犯灯設置
	・冠水対策(道路・排水路)	・冠水対策(道路・排水路)の推進	排水路整備事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・生活道路整備の選定にあたっては、今後も、住民(行政区)からの要望箇所だけでなく通学路や通行者の多い生活道路を安心して歩行できるよう歩道等の交通安全施設の整備やLED防犯灯の設置も含めた路線をもとに審査会にはかかっていく必要がある。
 ・道路や排水路の冠水対策にあたっては、市街化区域を主体に生活道路整備による道路冠水対策と安全な地域づくりに寄与する排水路整備を継続的に実施していく必要がある。

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	生活道路整備にあわせ保育所の駐車場整備や小学校周辺の歩道の段差解消と拡幅を同時に行ったことで、地域課題の解決や歩行経路の安全性が高まり満足度が向上している。	生活道路整備と地域課題の解決を連動させた整備は有効である。
	うまくいかなかった点	指標1の設定にH25事後評価アンケート調査で確認した評価値を活用したが、今回の事業には無い土地区画整理事業や、公園整備等住環境の満足度を高める事業による高い評価値を活用したため、目標値が高くなり過ぎた。	実施する事業内容にあわせた目標値を設定する。
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		実施する事業内容にあわせた目標値を設定する。
	うまくいかなかった点	指標計測にあたり整備計画区域と計測範囲が合わなかったため、事業効果を直接把握、評価できる対象者を選択できず直接的な効果を計れなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	生活道路の整備に先立ち工事説明会を開催したことで、住民の事業への理解を深めるとともに住民の意見や要望を事業に反映させることができた。	今後も周辺への影響が大きいと思われる生活道路の整備を行う際は、説明会等を開催する。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

H31年度に「阿見中央地区都市再生整備計画」の次期計画(5か年)を予定している。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成30年11月9日～11月23日	平成30年11月9日～11月23日	担当課で以下の方法で受け付ける。 ・窓口受付、郵便	産業建設部道路公園課
広報掲載・回覧・個別配布	町の広報に掲載(町ホームページ及び道路公園課の窓口にて閲覧できる旨を掲載)	平成30年11月9日～11月23日	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	道路公園課の窓口にて閲覧可能	平成30年11月9日～11月23日	平成30年11月9日～11月23日		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	国立大学法人筑波大学 システム情報系社会工学域教授 有田 智一 NPO法人 つくば建築研究会理事 (株)若柳建築事務所 一級建築士事務所 代表 若柳 綾子	平成30年12月20日	産業建設部道路公園課	阿見町都市再生整備計画事業評価委員会要綱	従来の組織(事業評価委員会)
その他の委員	阿見町議会議員 吉田 憲市 阿見町議会議員 野口 雅弘				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・妥当である。
	成果の評価	・妥当である。
	実施過程の評価	・妥当である。
	効果発現要因の整理	・事業効果要因の整理は、妥当である。
	事後評価原案の公表の妥当性	・公表の手続きは妥当である。一方で、意見が出やすい方法を検討することが望ましい。
	その他	・目標数値が高過ぎたことを踏まえ、今後の二期計画では、適切に設定すること。 ・「指標1」の要因分析が[I]が適切なのかとの指摘があった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当である。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・妥当である。
	フォローアップ	—
	その他	生活道路整備にあたっては、今後も ・「生活道路整備審査会」を継続的に活用する。 ・周辺地域への影響が大きいと思われる生活道路整備を行う際には、説明会等を開催する。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は、妥当である。
その他	・事業地区の進捗状況が誰にも分からないことが多い、事業地区のPRや周知を工夫して欲しい。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第1回変更)

阿見中部地区

茨城県 阿見町

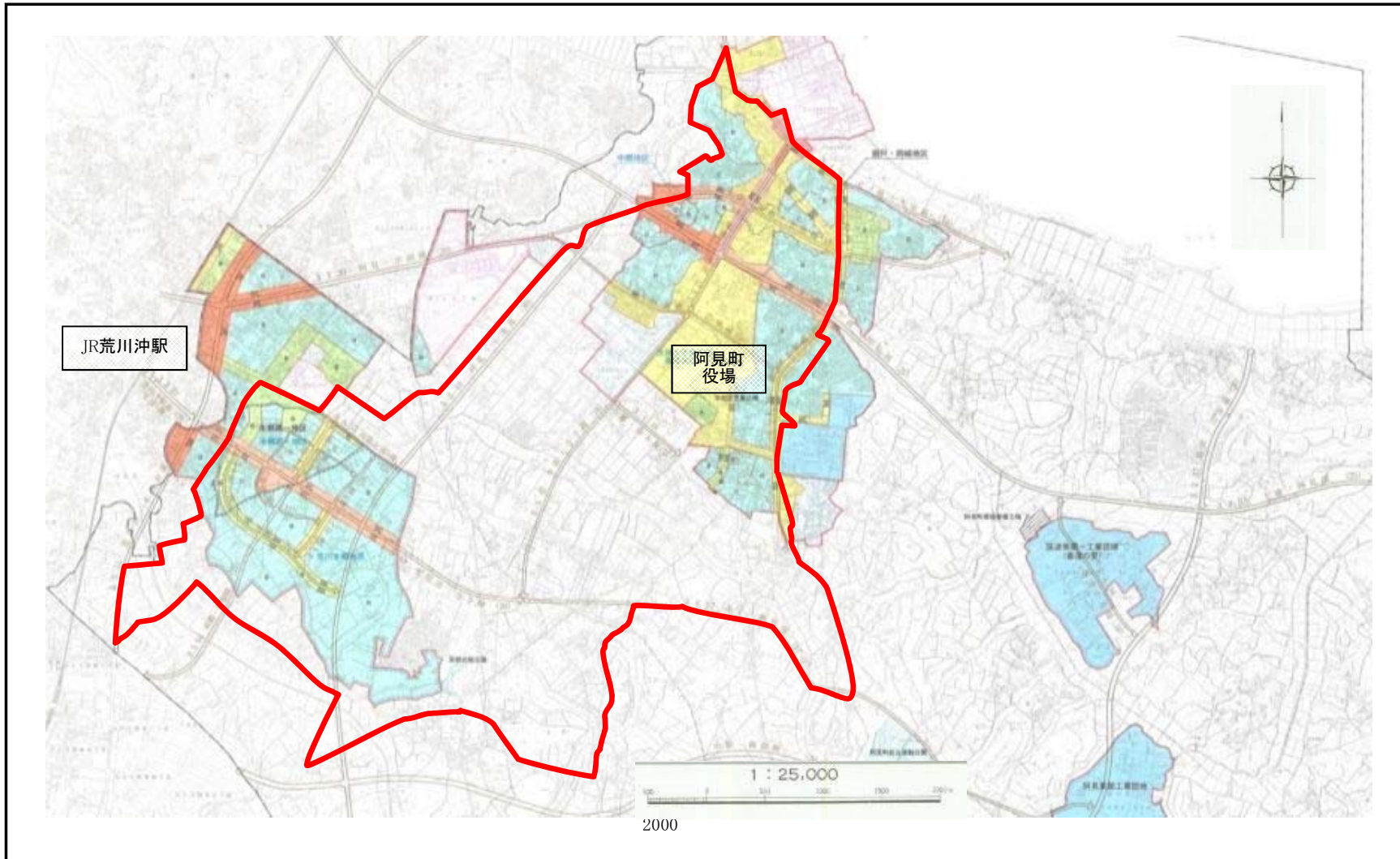
平成30年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で、だれもが安心して快適に暮らせるよう、生活環境の形成を図る。 ・日常生活をおくる上で必要な基盤整備を行い、安全な地域づくりとゆとりある住民生活の向上を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路事業：町道第2523号線他17(道路改築) 道路事業：町道第2310号線他14(道路修繕) 高質区間形成施設(緑化施設等)：LED防犯灯改修 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域創造支援事業：排水路整備 事業活用調査：事業効果分析調査
<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い都市環境の形成を図る。 ・公民館や町民体育館等の公共施設の耐震化を図り、地震対策を強化する。 ・消防活動等に支障が出るような狭隘な道路を整備し、安心・安全な生活環境を確保する。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路事業：町道第2523号線他17 (道路改築) 地域生活基盤施設：地域防災施設 (中央公民館) 地域生活基盤施設：地域防災施設 (本郷小学校体育館) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域創造支援事業(耐震改修)：町民体育館
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まちづくり方針」に沿った良好な市街地の形成 ・荒川本郷地区内で市街化促進のモデルとなる重点地区において、地権者、UR、民間事業者等を交えた勉強会を開催し、市街化の面的整備を円滑に進める。 	

都市再生整備計画の区域

阿見中部地区(茨城県 阿見町)	面積	1437ha	区域	阿見町中央・岡崎・鈴木・荒川本郷・中郷の一部・青宿の一部・実穀の一部・上長の一部
-----------------	----	--------	----	--



阿見中部地区(茨城県阿見町) 整備方針概要図

目標	町民の暮らしを支える安全で安心なまちづくり ・安全で、だれもが安心して快適に暮らせるよう、生活環境の形成を図る。 ・災害に強い都市環境の形成を図る。	代表的な指標	住宅・住環境に関する満足度 (%)	81.1 (24年度)	→	81.1 (30年度)
			身近な生活道路に関する満足度 (%)	65.1 (24年度)	→	69.3 (30年度)
			公共施設の耐震化率 (%)	62.9 (25年度)	→	100.0 (30年度)

